

事業所名

児童多機能型支援NEST（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2024年

9月

30日

事業所理念		こどもの輝きを支え、導く存在でありたい						
支援方針		運動やスポーツからなる集団療育を中心に子ども一人ひとりの『できた』『わかった』の成功体験を大切にします。個別課題に対しても個別支援を実施し自立に向けて自己理解、自己肯定感を育みます。安心安全にひとつの居場所として楽しく過ごせる環境を提供します。						
営業時間		平日	11時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり
		学校休業日	11時	30分から	17時	30分まで		
支援内容								
本人支援	健康・生活	事業所へ入室した際は自分の荷物の整理整頓、手洗いうがいをルーティンとして行っています。ルーティン、言葉での理解が難しい場合は視覚的に流れを伝えたり誘導することで【生活リズム】の習得を目指します。昼食時間を用いてお弁当の購入、食事作法の指導。排泄や手洗いなど衛生面での課題改善に向けて生活能力の向上を補助するなど、個別課題に応じて【生活能力向上（自立）】に向けた支援を行います。						
	運動・感覚	サーキットトレーニングやコーディネーショントレーニングなど多様な運動や、サッカーや陸上といった様々なスポーツに取り組む中で体幹、筋力、持久力の向上を楽しんで取り組めることを目指し【姿勢と運動・動作の基本的技能の向上】の支援を行います。運動療育による、運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長の支援を行うだけでなく、工作や調理などで様々な感触の物を用いたり、用具を操作し、手先のトレーニング支援も行います。						
	認知・行動	事業所で使っているファイル、連絡帳の提出をします。また、事業所へ入室した際にその日の活動スケジュールを絵や数字を用いて視覚的に確認します。様々な行動があるなかから、自ら【気づき（認知）行動】出来るよう支援を行います。運動プログラムの中で【対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得】ができるような視覚や聴覚、触覚等の感覚にアプローチをするトレーニングを行います。また色や形、数字や音といった概念についてもトレーニングし、本人の認知や行動の手掛かりになるように支援を行います。						
	言語コミュニケーション	プログラム後に感想発表の場を設けています。お友達の発表を聞く。自分の思っていることをお友達に対して発表するといった【言語の受容と表出】の支援を行います。また、自分で言葉形成できない児童には例文や絵カード、ジェスチャーを用いて【言語の形成と活用】のトレーニングを行っています。その他、プリントを用いて個別の課題に応じて文字や言葉を理解する力を養えるよう支援を行います。						
	人間関係社会性	プログラムは集団での運動だったりスポーツを行います。プログラムには必ずルールがあります。お友達との関わりが難しい場合は指導員がサポートし【仲間づくりと集団への参加】に繋がらるように支援します。チームとして行うことも多くあるのでお友達がどうしたいのか聞いたり受け入れたりして【他者との関り（人間関係）】が適切に出来るよう支援を行います。また、他者との距離感について適齢に応じたスキルを身につけるように学び支援を行います。						
家族支援		活動での成功や失敗の共有と助言、活動風景をSNSを用いて共有しています。また、ご家族のニーズに沿ってその時々困りごとなどを風通しよく相談・助言が出来るようにしています。ご家族の就業等による延長支援を提供しています。			移行支援		相談支援事業所とも連携して、通われていた保育園等と情報共有し支援につなげたり、進学先や就職先などの進路先との情報共有をして次の生活拠点へ安心に移行できるようにしています。	
地域支援・地域連携		学校や医療機関、福祉施設と連携し、包括的な支援を提供しています。地域で開催されているイベントに参加しています。			職員の質の向上		社内外、定期的に研修を行っています。（虐待身体拘束、感染症対策、災害対策、プール水遊び、意思決定についてなど）	
主な行事等		季節に関するイベント：初詣・節分・夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティー・大掃除など 運動に関するイベント：運動会（春、秋）・スポーツ体験、ポッチャ大会など その他イベント：避難訓練（年2回）						